

市内の火災件数は、今年に入り9件(4月15日現在)で、前年同期と比べて2件増となっています(⑥表)。

火災種別は、建物火災が4件、林野火災が1件、その他火災が4件発生しています。

春になると空気が乾燥し火災が発生しやすくなります。以下の火災予防対策を行いましょう。

### 火災の状況(市消防本部管内)

	令和元年 1月～12月	令和2年 1月～12月	令和3年 1月～4月
合計	25(9)	24(8)	9
建物	13(3)	14(3)	4
林野	2(1)	0(0)	1
車両	4(2)	4(1)	0
その他	6(3)	6(4)	4
損害額	45,384千円 (8,968千円)	62,820千円 (5,540千円)	8,513千円 ※(調査中4件)

※4月15日現在

※令和元年と令和2年の( )内は1月から4月までのもの

### 家庭での火災予防

- コンロのそばから離れる時は必ず火を消す
- コンロやストーブのそばに洗濯物など燃えるものを置かない
- 寝たばこは絶対にしない
- 火災を早期発見し被害を最小限に食い止めるために、住宅用火災警報器と消火器を設置する



### 屋外での火災予防

- 火災警報発令中など空気が乾燥している時は、たき火・火入れ・喫煙はしない
- 祭礼やイベントで火を扱う場合は、消火器を準備する。また、露店を開設する場合は届出を最寄りの消防署に提出する



### 放火の予防

- 家の周りに紙類など燃えやすいものを放置しない
- ごみ収集日の前夜にごみを外に出さない
- オートバイや自転車などのカバーには防災品を使う
- 郵便受けに新聞やチラシを溜めない



### 火災警報器の点検を！

住宅用火災警報器の電池寿命は約10年です。いざという時のために定期的に作動確認を行いましょう。

#### 作動確認の方法

点検ボタンを押すか点検ひもを引っ張る。正常な場合は、正常を知らせるメッセージまたは警報音が鳴ります。音が鳴らない場合は、電池がセットされているか確認し、それでも鳴らない場合は「電池切れ」か「機器の故障」です。

※詐欺や悪質な訪問販売にはご注意ください。

※消防職員による設置調査の際にはご協力をお願いします。



### 危険な林野火災

4月に久々野町で林野火災が発生しました。幸い大きな事故にはなりませんでした。林野火災は火災現場へのアクセスが悪いことや、消火するための水が周囲に無いことなど、消防活動が困難な場合が多く、気象条件によっては被害が広範囲におよび危険が高まります。

林野火災の原因は、たき火やたばこの不始末、火入れなどが上位を占めています。つまり林野火災は人的な要因で発生しているのです。

これからの季節は山菜採りや溪流釣りなど山に入る機会も多く、空気が乾燥することも多いので一人ひとりの注意で林野火災を防ぎましよう。

消防署では、水利の乏しい山林などで毎年訓練を行い、いざという時に備えています(⑦写真)。



### Net119緊急通報システム

音声による119番通報が難しい方(聴覚・言語機能に障がいがある方など)が、スマートフォンなどを使って、どこにいても音声によらない119番通報ができるシステムです。無料で登録できますので、ぜひご登録ください。



#### 利用方法

申請書を窓口へ提出してください。申請書は、消防総務課(桐生町3)にあるほか市HPからダウンロードできます。

問合せ 消防総務課 ☎32-0119